

平成31年4月26日

新潟市議会議長 永井武弘様

会派名 新潟市政クラブ

議員名 佐藤豊美



平成30年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 (単位 円)

	金額	備考
政務活動費	1,440,000	@120,000×12月

2 支出 (単位 円)

科目	金額	備考
調査研究費	150,657	別紙のとおり
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費	8,750	別紙のとおり
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	159,407	

3 残額 1,280,593円

支出伝票一覧表

会派名	新潟市政クラブ		議員名	佐藤豊美
支出年度	平成30年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	H30.7.13	中国遼寧省「瀋陽市、丹東市」視察研修経費	145,000	155,000円の内、 を除く
2	H31.3.31	平成30年度新潟市議会市政調査会会費	5,657	研修会開催経費
		小 計	150,657	
		合 計	150,657	

支出伝票

会 派 名	新潟市政クラブ	議員名	佐藤豊美
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	/
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年7月9日 から 平成30年7月12日		
支出年月日	平成30年7月13日		
支 出 金 額	145,000 円		
支 出 先	新潟交通㈱		
使 途 内 容	中国遼寧省「瀋陽市、丹東市」視察研修経費		
備 考	155,000円の内、 XXXXXXXXXX を除く		
領収書貼付欄		(調査研究費)	

〈再発行〉 領 収 書 BNo 809806

平成
令和
平成 30年 7月 13日

佐藤 豊美 様

下記金額正に領収致しました

¥ 155,000-

7/9~12 旅行費と
振込入金

新潟市中央XXXXXXXXXX6番1号
新潟交通XXXXXXXXXX株式会社

発行所 取扱者印

旅行販売一課 XXXXXXXXXX

内、消費税 円を含む 200円

取扱者印なきものは無効

経理46. B6. 複

日中友好促進新潟市議会議員連盟 様

2018年7月9日～12日

瀋陽・丹東訪問

新潟交通株式会社
旅行部 旅行販売1課
Tel 025-271-6266
担当 [REDACTED]**ご旅行費用請求書**

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代(ANA)	77,600	1	77,600	新潟～成田～瀋陽～成田～新潟
宿泊代(1泊朝食)	11,800	1	11,800	瀋陽ソフィテルクラス
宿泊代(1泊朝食)	12,500	1	12,500	丹東フレンドシップホテルクラス
宿泊代(1泊朝食)	11,800	1	11,800	瀋陽ソフィテルクラス
高速鉄道(2区間)	5,800	1	5,800	瀋陽～丹東～瀋陽
専用車・日本語通訳	25,290	1	25,290	4日間(マイクロバス)
小 計				
			144,790	
付帯費用	単価	数量	金額	摘要
燃油サーチャージ	5,000	1	5,000	
成田空港使用料	2,610	1	2,610	
現地空港税	2,600	1	2,600	
旅行傷害保険				任意
小 計				
			10,210	
合計金額			155,000	
合計金額			¥155,000	

このたびはご用命いただきありがとうございます。

上記のとおり請求させていただきます。何卒よろしく願いいたします。

新潟交通株式会社・営業1係
[REDACTED]

視 察 (出 張) 報 告 書

平成30年 7月 17日

新潟市議会議長 様

氏 名 佐藤 豊美



下記のとおり、視察(出張)が終了したので報告します。

視 察 議 員	別紙報告書のとおり
期 間	平成30年7月9日(月)～ 12日(木)
視 察 先	中国瀋陽市、丹東市
視 察 用 務	日中友好促進新潟市議会議員連盟 中国視察
視察先面会者	別紙報告書のとおり
概要及び所見	<p>1. 遼寧市 焼き鳥加工工場の生産量は年間8,000tで生産量の80%は日本へ輸出している。販売店はコンビニエンスストアであり、国内は20%程度とのこと。人手は何とか確保しているが、今後は問題である。 鶏の飼育から鶏肉加工、製品化まで一貫していることは、効率的で省力化につながり、本市における今後の農業分野での取り組みの参考となった。</p> <p>2. 丹東市 丹東市では、市民交流の促進や新潟米の輸入規制撤廃の協力を要請した。特に米の輸出については、国内の消費が低迷する中、本市の基幹産業のひとつである農業の活性化にもつながるものとする。 丹東市内視察では、北朝鮮との間の鴨緑江の断橋を視察した。朝鮮戦争の時、アメリカ軍の爆撃で北朝鮮側が破壊された。隣の新しい橋はトラックが往来していた。船に乗船して北朝鮮側が見えていたが厳しい生活の様子がうかがえた。拉致問題の早期解決が望まれるが、米朝関係の改善を契機に進展することを期待している。 水耕栽培の工場ではまだ実験中で量的には少なかったが、農薬の使用等で問題があるための手段で、本市ではこのような施設はあまりないが、コスト面などがクリアされれば、食の安全という意味で拡大していくのではないかと考える。</p>

金型工場では、中国は電気自動車の開発は進んでいるようだが、まだバッテリーの開発が遅れているとの感が払拭されていないとの説明を受けた。しかし、ガソリン車の販売台数は伸び続けており、自動車関係のプレスの需要が増えているとのことで、中国の経済の勢いはまだ衰えていないという実感を持った。

今回の視察で、隣国の中国との経済・観光分野の交流・発展に今後も期待できることを感じた。民間活力も活かしながら、さらなる経済交流などの取り組みを進めるべきと考えている。

日中友好促進新潟市議会議員連盟 主催

中国遼寧省「瀋陽市、丹東市」 視察研修事業報告書



平成30(2018)年7月9日(月)~12日(木)

1 視察訪問目的

今回の目的は3点です。

一つは、新潟とゆかりの深い遼寧省における日本（新潟）進出企業の現状と課題及び今後の展望について調査をすること。

二つは、新潟県と友好協定を結ぶ遼寧省の2都市を訪問し、友好交流から相互の観光交流拡大への道筋をつけるための課題を探ること。

三つは、訪問は省都である古都「瀋陽」と中国総領事館総領事孫大剛氏の出身地である「丹東」を予定。特に丹東は北朝鮮と鴨緑江を隔てて国境を接し、中国と北朝鮮との窓口都市で、メディアでも紹介される世界の注目の地。

拉致被害者の全員救出に取り組むためにも、北朝鮮と接する中国の窓口を訪問視察し、現地の状況を調査すること。

2 参加者名簿

	役 職	氏 名	会 派
1	団 長	金子 益夫	新潟市政クラブ
2	副団長	佐藤 幸雄	保守市民クラブ
3	幹事長	小泉 伸之	無 所 属
4	幹 事	田辺 新	新市民クラブ
5	幹 事	加藤 大弥	民主にいがた
6	幹 事	串田 修平	新潟市政クラブ
7	幹 事	青野 寛一	無 所 属
8		佐藤 豊美	新潟市政クラブ
9		山田 洋子	保守市民クラブ
10		渡辺 和光	民主にいがた
11		栗原 学	新潟市政クラブ
12		南 まゆみ	民主にいがた

3 日 程

Date	City	Transport	Localtime	Tour Condition	
1	7/9 (月)	新潟空港	NH3240	14:35	<p>集合 13:30 新潟空港</p> <p>ANAにて成田経由、瀋陽へ</p> <p>※瀋陽空港到着後～ホテルへ</p>
		成田空港		15:40	
		成田空港	NH925	18:50	
		瀋陽空港		21:20	
宿泊：遼寧友誼賓館					
2	7/10 (火)	瀋陽	バス	10:00-	<p>◆瀋陽企業華美畜禽集団視察（焼き鳥加工工場） （企業視察）</p> <p>新幹線にて国境の町・丹東へ</p>
		瀋陽南駅	専用車	12:00	
		丹東駅	G395	14:49	
				16:17	
				17:00-	<p>◆丹東市人民代表大会との意見交換会</p> <p>大塚朗（丹東日本人会会長）同席</p>
				19:30	
宿泊：丹東フレンドプラザホテル					
3	7/11 (水)	丹東駅	バス	10:00-	<p>◆丹東市内視察</p> <p>◆丹東東田果蔬种植設備有限公司（室内専用の水耕栽培設備を販売） ◆丹東滝田模具製造有限公司</p> <p>上記3か所対応：大塚朗 丹東滝田副総経理（丹東日本人会会長）</p> <p>新幹線にて瀋陽へ</p>
		瀋陽南駅	専用車	13:00	
			G396	14:28	
				15:55	
				18:00-	<p>◆遼寧省人民代表大会との意見交換会</p> <p>・瀋陽中越商貿有限公司（中越グループ）</p> <p>金子格 副総経理同席</p>
				19:00	
宿泊：遼寧友誼賓館					
4	7/12 (木)	瀋陽空港	NH926	10:40	<p>瀋陽空港より帰国の途へ</p>
		成田空港		14:50	
		成田空港	NH3239	17:40	<p>入国手続き～国内線～移動</p>
		新潟空港		18:45	

■現地担当者：遼寧省外事弁公室アジア処 李向榮研究員（前アジア局長）

遼寧省外事弁公室 應中元（党組書記、主任） 王佩瑜（通訳）

瀋陽中越商貿有限公司（中越クリーンサービス）金子格（総経理）XXXXXXXXXX（通訳）

4 視察概要

(1) 7月10日(火) 10:00~12:00

視察先=瀋陽企業華美畜禽集團視察(焼き鳥加工工場)(企業視察)

面談者=三菱商事生鮮品本部畜産部 瀋陽華美畜禽有限公司 ████████ 他



瀋陽・華美畜禽集團の事業展開について

○ 事業の概要

華美畜禽集團は、鶏の飼育から鶏肉加工・製品化、そして輸出まで手がけている合弁会社である。日本の総合商社「三菱商事」の出資比率が49%である。

主に「焼き鳥」を中心に製品化しているが、生産量は年間約8,000トンであり、販売額は約3億元(赤字ではないとのこと)。ここ数年は横ばいで推移しているとのこと。その80%が日本向けの輸出であり、韓国にもわずかに輸出しており、中国国内に20%弱の出荷とのことである。

ちなみに、日本における主な顧客は「青がイメージカラーのコンビニエンスストア」とのことである。

○ 現状の課題

現状の課題としては、何といても社員の確保策に尽きることである。立地場所は瀋陽のはずれなので、農民を中心に人手は何とか確保しているが、今後の規模拡大に向けて賃金面での課題も含めて、対応が急がれるとのことである。

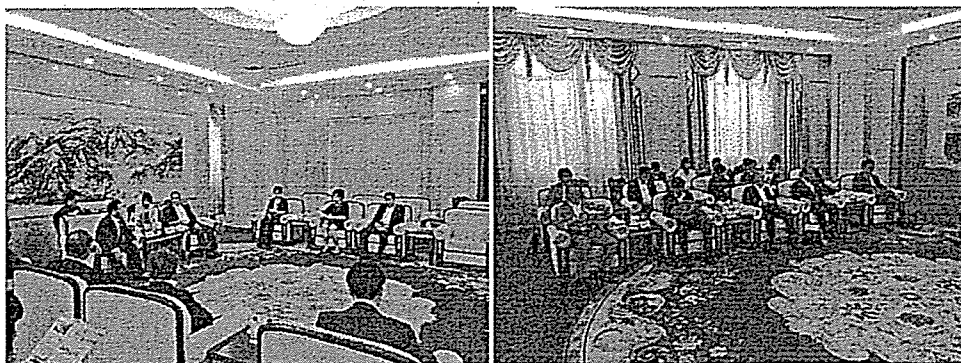
生き物の飼育で問題となる糞対策については、すべて焼却処分とのことである。

○ 今後の展望

製品の種類をから揚げやローストチキン・バンバンジーなどにも増やし、生産量を今後の10年間で4万5千トンまで拡大したいとのこと。まさに勢いを感じさせるコメントがあり、今後何かと注目していきたい。

(2) 7月10日(火) 17:00~19:30

視察先=丹東市人民代表大会との意見交換会



(丹東市側)

刘煥成 丹東市人大常委会副主任

杜 慧 丹東市外事办公室主任

车文愛 丹東市人大民侨外委主任

邢春龙 丹東市外事办公室副主任

吴婧雅 丹東市外事办公室翻译

同 席 大塚 朗 丹東日本人会会長 (丹東滝田副總經理)

王佩瑜 遼寧省外事弁公室通訳

瀋陽中越商貿有限公司 (中越グループ) 通訳

最初に丹東市から刘市人大常委会副主任より歓迎の挨拶に続き、丹東市の概要を報告いただいた。丹東市は遼寧省南部に位置し、面積は15,025 km²、人口は244万人、市轄は三つの区、二つの県級市、一つの県。中国海岸線の北端の起点、東は朝鮮民主主義共和国の新義州と川を挟んで眺められ、中国で最も美しい辺境都市と言われていると説明。

また代表団からは金子団長より新潟市議会51名中、47名が日中友好促進新潟市議会議員連盟に加盟している。今回、丹東市に訪問させていただいた目的は、一つに丹東市の日本企業の実態を見せて頂きたい。二つ目は、観光交流をもっと盛んにしたいと訪問の目的を説明。

さらに丹東市からは、国家園林都市、中国優秀旅行都市、全国双模範都市であり、中国十大養老聖地の一つに選ばれてもいる。沿海部には大鹿島、ノロ島など島もある。四季がはっきりしていて自然にもとても恵まれ、魚介類や果物が多く摂れ、日本からももっと多くの人が来て欲しいとの要望を受けた。

代表団からは、今回の丹東市への訪問が両市の観光交流をスタートさせるきっかけになること。日本国内に20市ある政令市の中で7年前、新潟市に日本海側初の中国領事館ができた。現在3代目領事である孫大剛先生から議連との意見交換会で、生誕地の丹東と仕事をしている瀋陽との交流、協力のチャンスをいただいた。私たちもこの機会を活かし両市の交流拡大を図りたい。中国は歴史があり、仏教、文化など中国から伝わった。長い日本と中国の歴史の中で良かった時代や氷河期もあったが、田中角栄が毛沢東との間で良い状況を築いた。新潟市の市民憲章の中に、海の向こうの

国は友の国と謳っている。国と国の間では解決が必要な事もあるが、仲良くやっていかないとけない。新潟にも美味しい米や果物が沢山ある。中国にも送り食べて頂きたいので、新潟米の輸入規制撤廃への協力を要請した。

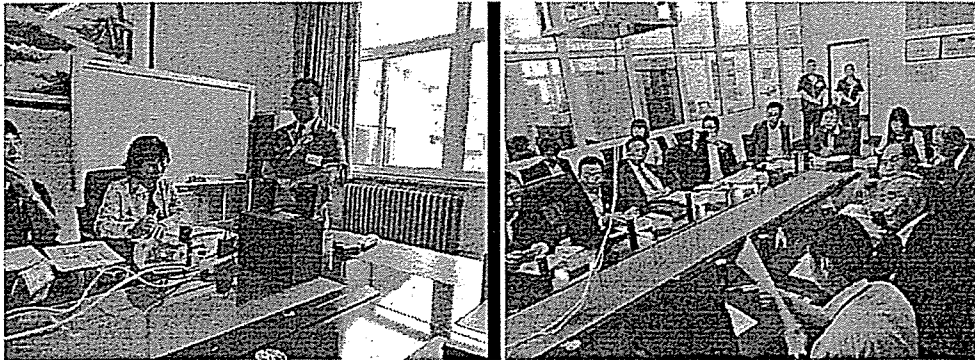
さらに代表団より、孫、子の時代まで良い関係をつくって行きたい。今回の訪問を機に丹東市とも姉妹都市になれることを期待したい。丹東市からの訪問団が来新いただければ熱烈な歓迎をし、今回の訪問の感謝としたいと提案。終始、和やかに意見交換会を行った。

(3) 7月11日(水) 10:00~12:00

面会者 丹東滝田模具製造有限公司・大塚朗 董事営業顧問(丹東日本人会会長) 他

I~IIIのレクチャは総て丹東滝田模具製造有限公司・大塚朗 董事営業顧問が担当。

I、丹東について及び丹東市内(断橋)視察



ア 丹東について

市内から車で30分ほど走ったところに、万里の長城の東端があり、10年ほど前に発掘、復元された。

同じく53キロのところに、中国の名山の一つ、鳳凰山がある。唐代の皇帝李世民が名付けたとされ、同所には800メートル下を望むことができる、ガラス張りの橋も架かっている。

100キロ離れている黄椅山森林公園は、30万年前に起きた火山噴火でできたカルデラ湖。水はとても透き通りきれいで、冬場はスキー場。夏場は避暑地になっている。

丹東市はまた果物栽培が有名。桃、燕紅桃はとても有名で、日本の桃と同じ柔らかさと甘さを持ち、8月から市場に出回る。苺は「九九苺」という種類で、1995年に日本から持ち込まれ品種を改良した。さらに中国の天津甘栗は馴染みだが、栗はすべて丹東産。ここで生産出荷され、天津では作っていない。

また丹東は海鮮、特に青柳貝やアサリ、ツブ貝の貝類が豊富。卵がたくさん入って身厚な渡り蟹は、北朝鮮から丹東・東港市にて多く輸入されている。

新幹線が出来て便利になった今では、観光客が苺やカニをいっぱい買っていくため、値段が3年前に比べて20%アップした。

米はコシヒカリ生産が盛んで、値段は5キロで50元(750円)と安い。

交通網では新幹線が整備され、大連まで2時間、瀋陽までは1時間10分で行けるようになった。丹東市の南に3,500mの滑走路を有する丹東浪頭国際空港があり、2014年には新ターミナルがオープンした。空路は北京、上海、成都、深圳、青島、哈爾濱、杭州の各国内線と、韓国ソウル仁川への空路があり、日帰りが可能となっている。韓国経由で日本に帰ることもできる。

高速道路も遼寧省の主要な都市と結ばれている。大連市までは350キロ3時間半。瀋陽市は280キロ2時間半ですが、今では出口が非常に混むため3時間ちょっとかかる。

イ 丹東市内(断橋)視察

丹東は観光と北朝鮮貿易で発展してきた街。観光では、一年間を通していろんなお客さんが来る。見どころも多くあり、1日では見られず3、4日はかかる。



新潟市が特に拉致事件の当事地であることから、北朝鮮の現状を少しでも垣間見るため、北朝鮮と中国をつなぐ鴨緑江に架かる断橋を視察した。断橋は鴨緑江に架かる2本の橋で、満州国時代に日本が造ったもの。本来、橋脚が90度回転し、大きな船も通ることができた。しかし朝鮮戦争のとき、このうち1本がアメリカ軍の爆撃で北朝鮮側が破壊された。現在は断橋として、北朝鮮を望む最も近い場所としても有名だ。またもう1本は、現在も北朝鮮（新義州）と丹東を結ぶ橋、交通路として重要な役割を果たしている。丁度、私たちが訪れた時期は、米朝首脳会談後の雪解けムードで、経済制裁が緩和されたのか、ひっきりなしに北朝鮮に向かう大型トラックを何台も目撃した。また橋からは北朝鮮の民家も見え、厳しい暮らしの様子が伺えた。

II、丹東東田果蔬种植設備有限公司視察（室内専用の水耕栽培設備を販売）

丹東市振興区国禎路14号



丹東東田果蔬种植設備有限公司は丹東滝田が安心安全な無農薬野菜を中国家庭に届けるために、プラントの生産と実験をここで行っている会社。中国の肥料会社と提携し、安全な溶液を与え室内で栽培をしている。レタスは40日。ほうれん草は60日かかる。

LED電気、栄養液を作って与えているので、原価は一般市場で売られているものの2-3倍になる。それでも需要は増え、中国での無農薬野菜のニーズが増えていることが判る。

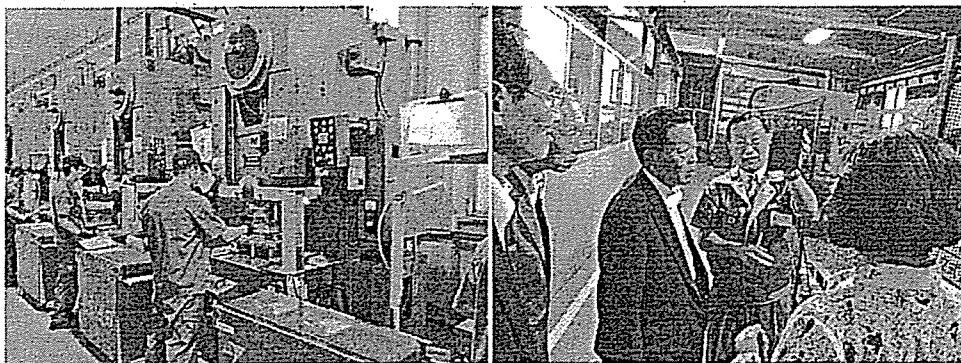
この実験棟の目的は、生産設備を開発製造することがメイン。家庭用、工場用、ビニールハウス用の設備を作っている。今、いろんなお客さんからお話があり需要がある。

実験プラントで出来た野菜は捨てるわけにいかないの、お客さんにアピールしながら売っているのが実態だ。

もともとは日本から持ってきた技術だが、応用しながら中国国内にプラント販売をしている。

日本への輸出は、中国国内の安全基準3Cはとっているが、日本輸出するためには、日本の工業規格JISを取らなければならない、中小企業ではコストがかさみ断念している。

Ⅲ、丹東滝田模具製造有限公司視察（プレス、金型工場） 丹東市振興区桃源街 42 号



丹東滝田の本社は上越市。資本金 1000 万円、従業員は 80 名。

中国には丹東と上海の北、江蘇省大倉の 2 か所。インドネシアにも事業所がある。

海外進出は丹東が一番古く 1995 年に出てきた。

丹東滝田模具製造有限公司は 1995 年に中国企業との合併でスタートした。

2006 年、合併契約期間が終わったので、一端合併を解消して、単独資本に変わった。

2011 年には丹東でも高度経済成長がきた。結果、金型工場の周りが全部住宅街に変わった。

工場ではプレスをやっているとは振動と騒音がついて回り、周辺住民からクレームをいただいてしまった。時には工場にレンガが投げ込まれ、窓ガラスが割られた。

公安と市政府に相談し、住民と夜間の騒音を 50 デシベル以下に抑えるという、日本より厳しい協定が結ばれた。しかし当初の場所にはおられないということで、現在の国営企業の東方電気の敷地に入れてもらった。その関係で、東方電気より 10% の出資を受け、2011 年より合併企業として再スタートした。

今の取引先は 90% が中国国内になっている。

事業内容は、金型を設計製作する。制作した金型を預かり、使用してプレスし製品だけをお客様に収める仕事をしている。金型の納期は、小さなもので 20 日。大きなもので 45 日位の納期をいただいている。金型の製作能力は月 23 型位ある。

しかし大連や瀋陽でも電器関係の日本企業は撤退か縮小している。大連のキャノンも縮小し、フィリピンにシフトしている。東芝は 3 年前に撤退した。

電機メーカーがいなくなって自動車に仕事が変わってきた。

仕事量の 70% が車関係の部品になっている。売上先は、瀋陽にある奉天三菱。三菱商事、奉天自動車、三菱自動車の出資の合併会社。ここでエンジンを作っているが、部品を作り納めている。

電器関係の仕事は減っているが、自動車関係が増加し、プレスの需要が増えているので、設備投資の拡大も考えている。

従業員は金型とプレス併せて現在 80 名。昨年はもう少しいたが、電器から自動車への切り替えで売り上げが落ち、若干従業員を減らした。来年はもう少し仕事が増えると予測されることから、従業員の増員も考えている。

勤労者の賃金や離職率は、非常に低い。丹東に進出する魅力になっている。丹東は大連や瀋陽に比べ非常に田舎。丹東滝田の従業員の離職率は 0.05% 位。ほとんど辞めない。同じ滝田グループの上海近郊の大倉では離職率が 30% もある。中国では南部が離職率は高い。

丹東は遼寧省の中でも最低賃金、給料、離職率が低い。

月の最低賃金は 1420 元（日本円で 24000 円程）。但しこれでは誰も来ない。滝田では平均 5400

元（日本円で92000円程）。中国では賃金に占める保険の割合が大きい。給料の52%になる。労働者の手取りは3000元弱になる。因みに大連は中国主要都市になかで8番目に高く、6100元。北京は7000から7500元となっている。

金型は、日本のお客さんから注文を受け、金型だけを収める仕事もしている。納入先は三菱電機、リンナイ、マキタ等。製作を全部行い、日本に届けて終わりになる。6年前から徐々に増えている。金型の日本向けは全体生産量の17%。一方、一部は中国向けにも金型だけ収めている販売先はあるが、ほとんどがプレスまで行い、製品で納めている。

中国での自動車産業は、昨年、販売台数は2500万台。今後、2020年には3500万台になるともいわれている。しかし中国の法律で電気自動車は2025年には全体の15%にするとしている。自動車全体の販売台数が増えているので、日本が得意とするガソリン車の生産は減らないと三菱自動車は見ている。電気自動車はバッテリーにまだまだ課題を抱えている。バッテリーで走れる走行距離、寿命、コストといった課題をかかえる。特に中国北部は冬場にはマイナス30度になる。マイナス18度を超えるとバッテリーを満杯にしても、いきなりゼロになるなどの課題がまだ多い。後5年位はガソリンが主流と見ている。

但し急速に自動車普及が進んでいることから、解決しなければならない課題も多い。第一は駐車場問題。道路両側にいっぱい車が駐車される。特に都市部、大連ではやっと車1台しか通れない道も多い。さらに電気自動車の普及を考えると、高層マンションに住む人は、高層の部屋から電源を引くところは難しい。充電場所の確保も含め、各メーカーとも電気自動車は急激にはふえないと見ている。当面はハイブリットがもう少し増えると見ている。100%電気自動車は都市部の市街地だけで、中国に多い山間部ではとても電気自動車は難しい。

当社の事業戦略は電機から自動車に変化した。特に自動車は産業の幅が広い。例えば電気自動車では充電器の需要や、駐車場問題では立体駐車場の需要が増える。

後20年たったらかなり構造は変わる気がする。当然20年後には自動車はほとんど電気自動車に代わっている時代になると見込んで事業を進めている。

(4) 7月11日(水) 18:00~19:00

視察先=遼寧省人民代表大会との意見交換会



(遼寧省側) 楊美林 遼寧省人大副主任
應中元 遼寧省外事弁公室主任
許 威 遼寧省人大全国外交委員会副主任
趙洪斌 遼寧省外事弁公室アジア局局長
李向榮 遼寧省外事弁公室アジア局研究員
胡元元 遼寧省外事弁公室アジア局部長
王佩瑜 遼寧省外事弁公室通訳
同席 金子格 瀋陽中越商貿有限公司(中越グループ) 副總經理
[redacted] 瀋陽中越商貿有限公司(中越グループ) 通訳

代表团より、本市が国から農業特区の指定を受け、農業を基盤とした田園型政令市として発展を続けている。特に3.11東日本大震災と福島原発の事故により、中国では本県農産物の輸入規制が続いている。事故当初より本県農産物の放射能汚染はなく、中国での輸入規制は困惑している。ぜひ撤廃に協力いただきたいこと。新潟と交流の深い遼寧省より観光交流の推進についても要請した。

一方、中医であり大学教授の人大副主任の楊美林氏より、改革開放時代は上海を中心とした長江デルタや、広州を中心とした珠江デルタに外資が導入され経済が躍進すると、その反動で遼寧の国有企業は多額の負債を抱え、時代遅れの存在となった。しかし現在は、大連を中心とした沿海地域に外資が導入され、アジアのシリコンバレーとしてIT関連を中心に、大きく経済が発展した。

GDPは昨今、7%前後をキープしている。

新潟県とは、大連事務所を窓口に交流を進めてきた。これからも新潟市とは交流を深めたいと、前向きに回答をいただいた。

5、最後に

今回の視察を通じ中国総領事館総領事孫大剛氏はじめ遼寧省外事弁公室及び瀋陽に進出している中越クリーンサービスの現地法人、瀋陽仲調商貿有限公司の金子格総経理、通訳の■■■■氏にはたいへんご協力をいただき、視察が有意義なものになったことに感謝します。

視察では、中国の現地でたくましく活躍する新潟企業には感動をしました。同時に、企業の海外進出と産業構造の目まぐるしい変化には、改めて目を見張った。

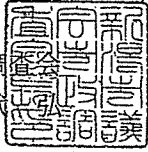
今回の貴重な経験を通じ、新潟の特に中小企業政策について改めてグローバルな視点で再構成をしなければならないと痛感した。

また中国では丁度、夏休みに入り家族旅行の姿を多く見かけ、観光地は賑わっていました。中国経済の発展と共に、中国の人々の暮らしも大きく向上する中で、観光、余暇の使い方も変化をしていることを実感した。

今、日本ではインバウンド、海外からの観光客の誘致に力を入れていますが、新潟はいささか遅れをとっている。新規空路の開設でも、一方通行の観光交流の受け入れではなく、中国は我々が想像するより奥深い資源が眠るだけに、相互のWinWinの関係を築くかの視点が大切ではないだろうか。

丹東では米朝首脳会談後の永年の緊張が雪解けムード直後だった。多くのトラックが鴨緑江を渡り北朝鮮に向かう実態を見て、経済制裁を中心とするだけでは、拉致被害者全員の救出につながるのか改めて考えさせられた。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市政クラブ	議員名	佐藤豊美
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年4月1日 から 平成31年3月31日		
支出年月日	平成31年3月31日		
支 出 金 額	5,657 円		
支 出 先	新潟市議会市政調査会		
使 途 内 容	平成30年度新潟市議会市政調査会会費		
備 考	研修会開催経費		
領収書貼付欄		(調査研究費)	
<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">領 収 書</p> <p style="margin: 5px 0;">新潟市政クラブ 佐藤豊美様</p> <p style="margin: 10px 0;"><u>金5,657円也</u></p> <p style="margin: 10px 0;">ただし、平成30年度新潟市議会市政調査会会費として、 上記金額を領収いたしました。</p> <p style="text-align: right; margin: 10px 0;">平成31年3月31日</p> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">新潟市議会市政調査会 会長 永井 武</p> 			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票一覧表

会派名	新潟市政クラブ		議員名	佐藤豊美	
支出年度	平成 30 年度	支出項目	要請・陳情活動費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	H30. 4. 18	新潟中央環状道路中央要望旅費		8,750 円	新潟—東京往復新幹線代
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
				円	
		計		8,750 円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支 出 伝 票

会 派 名	新潟市政クラブ	議員名	佐藤豊美
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	/
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年4月18日		
支出年月日	平成30年4月18日		
支 出 金 額	8,750 円		
支 出 先	新潟交通(株)		
使 途 内 容	新潟中央環状道路中央要望 旅費		
備 考	新潟-東京往復新幹線代 17,500 円 × 1/2 = 8,750 円		
領収書貼付欄	(要請・陳情活動費)		

NO516260-2

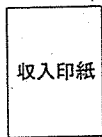
領収証

佐藤 豊美 様

2018 年 4 月 18 日

金 額									
	¥	1	7	5	0	0	-		

但 4月18日 JR代金として
上 記 正 に 領 収 致 し ま し た



新潟市東区東山8-7-1
 新潟交通株式会社
 旅行販売課

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

視察 (出張) 報告書

平成30年 4月20日

新潟市議会議長 様

氏名 佐藤 豊美



下記のとおり、視察 (出張) が終了したので報告します。

視察議員	永井 武弘、佐藤 正人、田村 要介、水澤 仁、佐藤 幸雄、佐藤 豊美 金子 益夫、金子 孝、串田 修平
期 間	平成30年4月18日 (水)
視 察 先	①衆議院第一議員会館 ②財務省 ③国土交通省
視 察 用 務	新潟中央環状道路中央要望
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	<p><所見></p> <p>中央環状道路は、広域合併後の本市をつなぐ大動脈であり、今後の各地域の発展に欠くことのできない道路である。</p> <p>通常時の円滑な交通の確保のため、また、災害時等の緊急道路としてなど、中央環状道路の役割は大きく、本県選出国會議員や財務省、国土交通省へその状況を説明し、財源確保などの要望を行った。</p> <p>要望先では大変良心的に対応していただけたと思うが、引き続き、本市発展のためにも中央環状道路の早期完成に向け取り組んでいきたい。</p>

新潟中央環状道路中央要望 報告書

【要望日】 平成30年4月18日(水)

【要望議員】 9人

永井 武弘、佐藤 正人、田村 要介、水澤 仁、佐藤 幸雄、佐藤 豊美、
金子 益夫、金子 孝、串田 修平

【要望事項】 新潟中央環状道路の整備促進について

1 国会議員要望

【場 所】 衆議院第一議員会館

【時 間】 11:10～13:30

【面会者】 細田 健一 衆議院議員、石崎 徹 衆議院議員、斉藤 洋明 衆議院議員
塚田 一郎 参議院議員、佐藤 信秋 参議院議員

【概 要】

新潟中央環状道路整備について、平成29年度よりICアクセス道路補助制度に採択されて整備推進に弾みがついていることなど、現在の進捗状況について説明し、道路沿線において、新たな工業用地確保に向けた取り組みが進められ、企業活動を支援する物流ネットワークの確保、高速道路及び国道へのアクセス強化など、道路整備による早期の効果が見込まれることから、安定した財源の確保に向けて、今後も積極的にご支援いただけるよう要望した。

2 各省庁要望

(1) 財務省

【時 間】 14:00～14:10

【面会者】 大鹿 行宏 主計局次長

【概 要】

新潟中央環状道路整備への安定した財源の確保についての要望に対し、年度途中での補正予算を例年通り検討したいとのことであった。

(2) 国土交通省

【時 間】 14:30～15:30

【面会者】 菊地 身智雄 港湾局長
和田 信貴 道路局次長

山田 邦博 水管理・国土保全局長

【概 要】

新潟中央環状道路整備への安定した財源の確保についての要望に対し、年度途中での補正予算を財務省に要望していきたいとのことであった。また、併せて除雪費補助についても要望し、制度設計を含めて検討していきたいとのことであった。

新潟中央環状道路中央要望日程表

- 1 要望日 平成30年4月18日(水)
- 2 参加者 永井 武弘、佐藤 正人、田村 要介、水澤 仁、佐藤 幸雄、佐藤 豊美、金子 益夫、金子 孝、串田 修平
- 3 要望日程
(行き)とき 310号 新潟駅(8:25)⇒燕三条駅(8:37)⇒東京駅(10:28)
(帰り)とき 335号 東京駅(17:16)⇒燕三条駅(19:12)⇒新潟駅(19:24)
※燕三条駅利用:水澤 仁、金子 孝

11:00 衆議院第一議員会館 到着

(1) 国会議員要望

- 会場:衆議院第一議員会館地下1階特別室
時間:11:10~11:40
出席者:細田 健一 衆議院議員、石崎 徹 衆議院議員
- 12:05 佐藤 信秋 参議院議員
- 12:30 昼食(衆議院第一議員会館11階1118号室)
塚田 一郎 参議院議員、斉藤 洋明 衆議院議員

(2) 各省庁要望

- 財務省
14:00(10分程度) 大鹿 行宏 主計局次長
※副大臣、政務官公務で面会できず、担当主計官、当日外出で面会できず。
- 国土交通省
14:30 菊地 身智雄 港湾局長
14:50 和田 信貴 道路局次長
15:10 山田 邦博 水管理・国土保全局長
※副大臣、政務官当日国土交通委員会開催で面会できず。

陳 情 書

「新潟中央環状道路の整備促進」

平成30年 4月18日

新潟市議会

新潟中央環状道路促進期成同盟会

会長 佐藤 豊美

新潟中央環状道路の整備促進

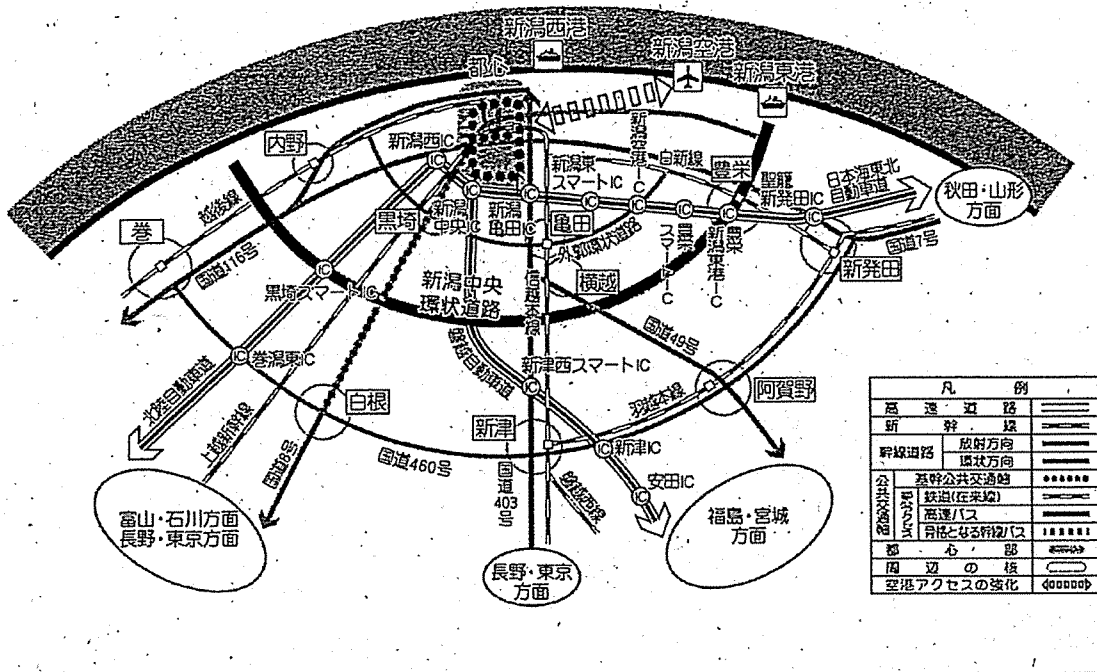
道路は市民の暮らしや社会・経済活動を支える最も基礎的な社会資本であるとともに、渋滞の緩和や災害時の緊急輸送、救急医療など、本市における道路整備の必要性は依然高い状況となっています。

新潟中央環状道路は、「政令市にいがた」の拠点化に資する事業であり、活力あるまちづくりにつながることから、着実に推進していく必要があります。

現在、新潟東港から国道402号に至る約45kmの区間のうち、約19kmにおいて事業を進めています。このうち、中ノ口・黒埼・明田工区は、平成29年度よりICアクセス道路補助制度に採択され、整備推進に弾みがついたところであり、今後も積極的な支援を要望いたします。

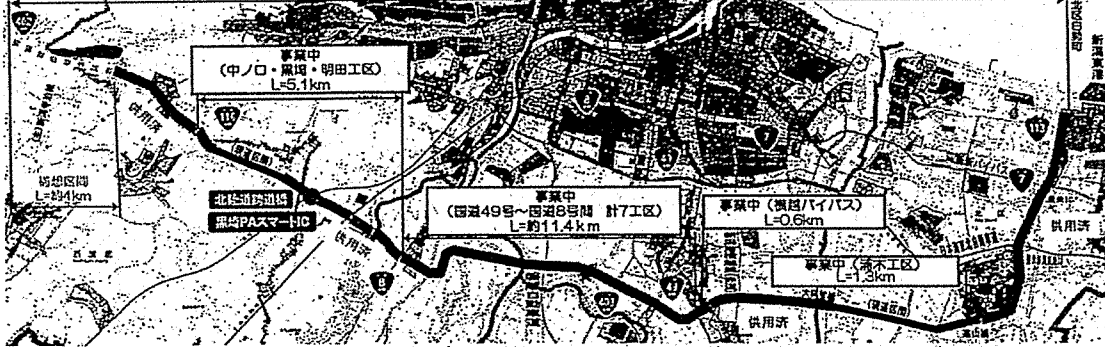
本市では、新潟中央環状道路沿線において、新たな工業用地確保に向けた取り組みを進めており、企業活動を支援する物流ネットワークの確保や高速道路および国道へのアクセス強化など、道路整備による早期の効果発現が見込まれることから、安定した財源の確保を要望します。

新潟都市圏の交通ネットワーク



新潟中央環状道路の整備

新潟中央環状道路 全体延長 L=約45km (うち事業中期間延長 L=約19km)



北陸道跨道橋・黒崎PAスマートIC 付近整備イメージ

